



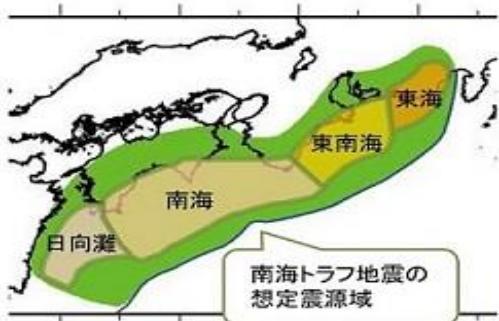
かじやま

かんどうがいっぱい じまんがいっぱい やる気じゅう分 毎日が楽しい 梶山小

R7.3.12(水) : 文責 校長

❖資料:南海トラフ地震に関して❖

・昨日は、東日本大震災が発生した日でした。2011年3月11日14時46分の発生ですので、14年が経過したことになります。以下の資料は、私が防災士として話をする時の資料です。時間があるときにどうぞ！



〔「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)
地震調査研究推進本部地震調査委員会
記者発表資料に一部加筆〕



*左の図は、南海トラフ地震の想定震源域です。
右の図は、地震が発生する仕組みです。

*宮崎県の防災関係のHP等を参考にして資料を作成しています。

1.南海トラフ地震とは

- ・100年～150年間隔でくり返し発生してきたM8～M9の大規模な地震。
- ・過去の南海トラフ地震 1361年→1498年→1605年→1707年→1854年→1944・1946年→??
- ・震度7の予想（立っていることができず、はわないと動くことができない。耐震性低い建物は倒れる。）

2.南海トラフ地震による県内の津波浸水想定

- ・南海トラフ地震発生後、本県における最大津波高は約17m、最短津波到達時間は14分。

3.南海トラフ地震での宮崎県被害想定

- ・人的被害（死者数）→約15,000人
- ・建物被害（全壊棟数）→約80,000棟

4.地震の揺れから身を守るための基本的な行動

- ・大規模地震が発生した時は、慌てずに自分の身を守る。低く！頭を守り！動かない！
- ・家の中では、座布団などで頭を保護。丈夫な机の下に隠れる。あわてて外へ飛び出さない。
- ・商業施設などでは、施設の誘導係員の指示に従う。あわてて出口・階段などに殺到しない。

5.津波から身を守るための基本的な行動

*深海での津波の速さはジェット機のみ。沿岸部でも短距離選手のみ。

- ・沿岸部では、津波が起きると思い避難する。
- ・車で避難しない。東日本大震災の際、車で避難して亡くなった人も多かった。
- ・「遠く」よりも「高く」。時間を考え、場合によってはビルなどに逃げ込む。

6.南海トラフ巨大地震に対する家庭での備え

- ・①最低でも3日分の食糧や飲料水などを備蓄。②一次避難用品を準備。③テレビやタンス、食器棚などの家具の転倒防止。④避難所の場所や安全な避難経路を確認。⑤災害時を想定し、家族間で話し合いをしておく。*一次避難用品とは、避難所がまだ開設されていない数日間を過ごすために必要な用品のこと。